



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

人文科学研究院／人間環境学研究院／法学研究院／経済学研究院
九州大学人系協働研究・教育コモンズ第10弾 シンポジウム

棚田の教え

その成立基盤と持続可能性

講演者 **菊地 成朋** きくち しげとも

九州大学名誉教授 特任研究者、NPO 法人 RAS 研究会理事長
専門は建築計画学、居住文化論。東京大学助手、九州大学助教授を経て1998年九州大学教授。2021年より九州大学名誉教授。主な著書に『韓国現代住居学』（1990）、『砺波散居村における居住システムの分析』（1998）、『住まいを読む－現代日本住居論』（1999）、『都市理解のワークショップ』（2015）ほか。工学博士。



日本各地をはじめ稲作を行う山間部の土地に広がる棚田と、それを取り巻く環境が、本シンポジウムの話題の中心になります。

今回お招きする菊地氏は、1998年の人間環境学研究科設立以来、文理融合型の同組織において学際的な教育と研究を担い、今年3月に退職を迎えられました。伝統的な民家・集落から現代の集合住宅まで幅広く居住のあり方について研究され、近年は、それまで研究対象としてきた歴史文化的なストックをどう未来につなげるか、という課題に取り組んでおられます。

その対象のひとつである「棚田」は、ここ20年ほどの間に景観の美しさで再評価されるようになりました。一方で、学術的にも歴史から環境問題まで多分野にまたがるテーマ性を秘めた興味深い対象でもあります。そしてそんな棚田について、成立の謎や特異な形態をとる理由、一方で絶滅の危機にある棚田の現状となぜ棚田は保護される必要があるのか、さらに今後の持続可能性について、研究と実践を踏まえたお話をうかがいます。

【ディスカッサント】

朝廣 和夫 九州大学大学院芸術工学研究院 准教授

小島 立 九州大学大学院法学研究院 教授

【司会・聞き手】

三島美佐子 九州大学総合研究博物館 教授

木下寛子 九州大学大学院人間環境学研究院 准教授

【オンライン開催 参加費 / 無料】

2021 7/31 [土]

15:00 - 18:00

九州大学伊都キャンパス イーストゾーン
フジギャラリーより配信

参加申込み

シンポジウムはオンライン会議形式 (Zoom) で行います。下記サイトへアクセスの上、事前登録をお願いします。折り返し、アドレスとパスワードをご連絡いたします。

http://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/event_10.html ▶

【主催／お問い合わせ】九州大学人系協働研究・教育コモンズ Email: enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

【共催】九州大学総合研究博物館、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構・都市クラスター 【協力】九州大学附属図書館付設教材開発センター

